

## 第 10 章 異常水質事故発生状況



## 対象期間

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

## 対象事故

平成25年度に環境局環境対策課で把握した魚死亡、油浮遊、濁水、pH異常等の異常水質事故

## 発生状況

### 1 異常水質事故発生件数

#### (1) 種類別事故発生件数

平成25年度に発生した異常水質事故は50件であった。前年度の48件と比べ2件増加した。異常水質事故の種類別では、油浮遊が25件と最も多く、次いで着色水が16件、魚死亡が3件、濁水が2件、pH異常が1件、その他が3件であった。

#### (2) 水系別異常水質事故発生件数(表 - 1)

水系別では、東京湾で11件、多摩川水系で22件、鶴見川水系で17件の異常水質事故が発生した。

東京湾で発生した異常水質事故は、油浮遊が10件、pH異常が1件であった。

多摩川水系で発生した異常水質事故は、魚死亡が1件、油浮遊が10件、着色水が9件、濁水が1件、その他が1件であった。河川別では、多摩川本川で4件(油浮遊2件、着色水2件)、三沢川で2件(油浮遊1件、その他1件)、旧三沢川で1件(魚死亡)、平瀬川で11件(油浮遊5件、着色水6件)、二ヶ領用水で2件(着色水1件、濁水1件)、五反田川で2件(油浮遊2件)であった。

鶴見川水系で発生した異常水質事故は、魚死亡が2件、油浮遊が5件、着色水が7件、濁水が1件、その他が2件であった。河川別では、矢上川で9件(魚死亡1件、油浮遊2件、着色水5件、その他1件)、有馬川で2件(油浮遊1件、着色水1件)、麻生川で2件(魚死亡1件、着色水1件)、真福寺川で2件(油浮遊1件、その他1件)、片平川で2件(油浮遊1件、濁水1件)であった。

表 - 1 水系別異常水質事故発生件数

水系	種類	魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	その他の水質異常	地下浸透	合計
東京湾	川崎港運河内		8			1			9
	川崎港運河外		2						2
	小計	0	10	0	0	1	0	0	11
多摩川	多摩川本川		2	2					4
	三沢川		1				1		2
	旧三沢川	1							1
	平瀬川		5	6					11
	二ヶ領用水			1	1				2
	五反田川		2						2
	登戸排水路								0
	山下川								0
	六ヶ村堀下水路								0
	宮内下水路								0
	大丸用水								0
	五ヶ村堀								0
	小計	1	10	9	1	0	1	0	22
	鶴見川	鶴見川本川							
矢上川		1	2	5			1		9
有馬川			1	1					2
渋川									0
麻生川		1		1					2
早野川									0
真福寺川			1				1		2
片平川			1		1				2
江川									0
市外河川									0
小計		2	5	7	1	0	2	0	17
合計		3	25	16	2	1	3	0	50

(3) 原因別異常水質事故発生件数(表 - 2)

原因者が判明した異常水質事故は26件で、工場・事業場によるものが13件、建設工事によるものが6件、船舶によるものが2件、その他が5件であった。

工場・事業場に起因する13件の異常水質事故(油浮遊6件、着色水4件、濁水1件、その他2件)の原因は、施設の破損が1件、作業ミスが3件、施設の管理不備が9件であった。建設工事に起因する6件の異常水質事故(着色水3件、濁水1件、pH異常1件、その他1件)の工事内容は、下水道工事が1件、水道・ガス工事が1件、建築工事が3件、道路工事が1件であった。船舶に起因する2件の異常水質事故(油浮遊)の原因は、施設の破損が1件、作業ミスが1件であった。また、原因不明の異常水質事故は24件で、魚死亡が3件、油浮遊が12件、着色水が9件であった。

表 - 2 原因別異常水質事故発生件数

原因	種類	魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	その他の水質異常	地下浸透	合計
	工場・事業場	施設の破損		1					
作業ミス			3						3
施設の管理不備			2	4	1		2		9
火災消火									0
原因不明									0
小計			0	6	4	1	0	2	0
建設工事	下水道工事				1				1
	河川改修・管理								0
	水道・ガス工事			1					1
	建築工事			2			1		3
	道路工事					1			1
	その他の工事								0
小計		0	0	3	1	1	1	0	6
船舶	施設の破損		1						1
	作業ミス		1						1
	施設の管理不備								0
	原因不明								0
	小計		0	2	0	0	0	0	0
その他		0	5	0	0	0	0	0	5
原因不明		3	12	9	0	0	0	0	24
合計		3	25	16	2	1	3	0	50

2 異常水質事故発生状況の経年推移(平成6年度～平成25年度)

(1) 異常水質事故発生件数

平成6年度から平成25年度までの種類別異常水質事故発生件数を表 - 3 に示す。

過去20年間の平均発生件数は37件/年であった。

表 - 3 種類別異常水質事故発生件数経年推移

種類	年度																				合計
	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
魚死亡	3	3	4	12	1	0	3	3	1	1	0	0	2	2	0	4	5	4	4	3	55
油浮遊	13	11	13	24	15	11	18	11	14	20	11	21	20	19	21	14	10	14	19	25	324
着色水	3	5	6	8	3	4	9	1	5	6	7	5	27	12	18	38	26	8	21	16	228
濁水	1	2	0	0	3	4	6	5	4	4	1	5	4	7	8	14	4	1	2	2	77
pH異常	3	2	5	4	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	22
その他	1	1	2	2	1	1	1	0	1	4	1	0	0	1	2	3	1	7	2	3	34
地下浸透	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	741

(2) 水系別異常水質事故発生件数

平成6年度から平成25年度までの水系別異常水質事故発生件数は表 - 4 に示す。

水系別発生件数は、海域では京浜運河(32件)、多摩川水系では平瀬川(186件)、鶴見川水系では矢上川(104件)が最も多かった。

表 - 4 水系別異常水質事故発生件数経年推移

水系	年度																				合計	
	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25		
東京湾	川崎港運河外		1		4	1	1			3	1	2	3	4	3	2	1			2	28	
	未広運河						1		1		2				1					1	6	
	田辺運河	2	1	2	2			2	1	1				2	2	1		1	5	1	23	
	大師運河			1			1		1	1	3	1	4						1	1	15	
	京浜運河	2	2	2	3		4	2	1	4			3	1		2		1	1	1	3	32
	千鳥運河					1		2			2		2				1			1	1	10
	塩浜運河	1	3	1								1		1	1	1			4			13
	池上運河	1		1					1	2		2				1						8
	夜光運河		1																			1
	水江運河			1												1						2
	浅野運河				1				1	2	1			1			1				1	8
	桜掘運河					1				2						2			1			6
	南渡田運河						1							1	2							4
	白石運河											1	2					1			1	5
	川崎航路							1							1							2
	境運河												1	1								2
	多摩運河																		1	1		2
	小計	6	8	8	10	3	8	5	5	12	10	8	13	12	12	11	6	2	8	9	11	167
	多摩川	多摩川本川				3	2		1	5	2			1	5	5	5	7	2	1	4	43
三沢川			1	1	1	3		2	1	1	1			2	2	4	1	1	1	2	24	
旧三沢川			1								1		1								4	
平瀬川		5	4	9	7	5	5	1	4	2	6	5	6	23	8	16	34	14	10	11	11	186
二ヶ領用水		6	6	2	8	3	2	5	5	1	2	4	4	3	3	3	1	3	3	2	2	68
五反田川		1			2	1	1	2	2				2	2	1		1	1	1	4	2	23
登戸排水路		1			1	1						1										4
山下川								2								1	1	1		1		6
六ヶ村堀下水路					1			2									1			1		5
宮内下水路				1				1			1						1					4
大丸用水					2			1	1					1								5
五ヶ村堀							1														1	
小計	13	12	13	25	15	8	17	14	9	13	10	13	30	19	27	48	27	17	21	22	373	
鶴見川	鶴見川本川				1	1	1	1				1		1		3		1			10	
	矢上川	2	4	4	6	4	1	5	2		10	2	2	8	6	6	10	11	7	5	9	104
	有馬川			1	3			4		2		1		3		1	3			4	2	24
	渋川	1		1	1			1		1								1				6
	麻生川			1	3		1	1		1	1				2	3	2	4	2	3	2	26
	早野川			1			1					1			1							4
	真福寺川	1			1	1					1		1			1	1			1	2	10
	片平川	1		1				1					1					1		1	2	8
	江川					1		1														2
	市外河川							1											1	4		6
小計	5	4	9	15	7	4	15	2	4	12	3	6	11	10	11	19	17	11	18	17	200	
地下浸透	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	741	

鶴見川水系の市外河川：平成12年度（真光寺川）、平成23、24年度（黒須田川）

(3) 原因別水質事故発生件数

平成6年度から平成25年度までの原因別異常水質事故発生件数を表 - 5 に示す。

原因不明の異常水質事故は過去20年間で平均23件/年であり、全体の62%となっている。原因の特定には、関係機関との連携に基づく異常水質事故発生当初の初動調査が重要である。

この初動調査における関係機関の連絡及び協力体制を確立するため、川崎市では庁内関係機関との協議を基に、平成6年に策定した「川崎市異常水質事故対策要領」に基づき対応している。

表 - 5 原因別異常水質事故発生件数経年推移

原因		年度																				合計	
		H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25		
工場・事業場	施設の破損	1	6	2		1	2	1	2	2	1	1	2		1	1					1	24	
	作業ミス	6		3	5	2	5	7	1	2	6	4	6	5		2	2	4	1	3	64		
	施設の管理不備		4	3	5	1		5	3	4	3	1	2	3	1	1	3		3	3	9	54	
	火災消火			1	1										1							3	
	原因不明																		1			1	
	小計	7	10	9	11	4	7	13	6	8	10	6	10	8	3	2	5	2	8	4	13	146	
建設工事	下水道工事	1				1		1	1	1					2	1	2				1	11	
	河川改修・管理		1	1		3				1	1		1						2			10	
	水道・ガス工事								1						1	2					1	5	
	建築工事			1		1		2			1		3	1	2	3	5		2	2	3	26	
	道路工事				1				1	1			1				2					7	
	その他の工事														2	2				3	1		8
	小計	1	1	2	1	5	0	3	2	3	2	1	4	4	6	5	11	0	5	5	6	67	
船舶	施設の破損		1	1	3	1	2			1	3	2	1	2	1						1	19	
	作業ミス		1			1	1			2			1			1		1	2	1		11	
	施設の管理不備													1			1					2	
	原因不明													1								1	
	小計	0	2	1	3	2	3	0	0	3	3	2	2	4	1	0	1	1	1	2	2	33	
その他	1	1	3	5	4	0	2	2	2	3	1	2	0	2	1	0	1	2	2	5	39		
原因不明	15	10	15	30	10	10	20	11	9	17	11	14	37	29	41	56	42	20	35	24	456		
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	741		

3 異常水質事故発生状況一覧

平成25年度に発生した異常水質事故の発生状況の一覧を表 - 6 に示す。

表 - 6 異常水質事故発生状況一覧

発生・ 受信月日	発生場所			事故区分	措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名					
4月16日 ・ 4月16日	4月16日	多摩川	平瀬川	その他	宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課	平瀬川親水橋付近で白濁水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。親水橋から1つ下流の柳橋で白濁水が滞留しているのを確認した。採水し、pHやバクテスタで確認したが、特に異常は見られなかった。周りの水路や上流を確認したが、白濁が見られなかったため、原因特定には至らなかった。		
4月16日 ・ 4月18日	4月18日	多摩川	平瀬川	魚死亡	高津区役所道路公園センター 中部下水道事務所 環境局環境対策課 高津区役所道路公園センター 中部下水道事務所	平瀬川に流れ込む水路に油が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。集水枡に油があり、近くのマンシヨンからの排水が流れてきていることが判明した。集水枡の清掃を行った。	判明	原因者に配管の改善を指導した。
4月24日 ・ 4月24日	4月24日	鶴見川	真福寺川	油浮遊	麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課 環境局廃棄物指導課	真福寺川溜地橋付近で悪臭がする水が流れているという連絡を受けた。関係機関と実地調査を行ったところ、溜地橋近くの建物解体現場で、冷蔵庫内で保管されていた液体物を流したことが判明した。	判明	原因者に液体物の投棄状況の確認をさせるとともに、不法投棄に対する指導を行った。
5月8日 ・ 5月8日	5月8日	多摩川	平瀬川		高津区役所道路公園センター 中部下水道事務所 下水道部下水道水質課 環境局環境対策課 事業者 環境局環境対策課	平瀬川久地1号橋から下流側で青緑色の水が流れているという連絡があり、関係機関と実地調査を行った。河川水のpHがアルカリであったため、pHを測定しながら水路をたどったところ、工場の排水が原因であることがわかった。応急措置として、原因者が排水口に続く排水枡の入口と出口を鉄板、土嚢等で封鎖すると共に、排水枡内を清掃した。	判明	原因者に雨水管や雨水側溝の清掃、排水系統の確認をすよう指導した。さらに、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
5月9日 ・ 5月9日	5月9日	鶴見川	矢上川		高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 環境局廃棄物指導課	矢上川西ヶ崎橋より少し上流の水路から発砲水が流れ出ているという連絡があり、関係機関と実地調査を行った。雨水管内を調査したところ、洗剤水が見受けられ、近隣の工場が不要なシヤンプー等を流したことが判明した。	判明	原因者に対してシヤンプー等の投棄の状況の確認をさせるとともに、不法投棄に対する指導を行った。

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分	措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等					
5月16日 ・ 5月16日	5月17日	多摩川	三沢川	多摩区 菅北浦	その他	宮前生活環境事業所 環境局環境対策課 原因者 宮前生活環境事業所	浄化槽からのし尿を含んだ下水が水路に流れており、悪臭がするという連絡があり、関係機関と実地調査を行った。浄化槽の状況を確認したところ、管理状況が悪く汚泥が許容量を超えて溜まっていた。原因者に浄化槽内の汚泥の引き抜きを行うよう指導した。	判明	原因者に対して浄化槽の適正管理について指導を行った。
5月27日 ・ 5月27日	5月27日	東京湾	田辺運河	川崎区 扇町	魚死亡	川崎海上保安署 消防局 港湾局 川崎海上保安署	田辺運河で油膜が浮遊しているという連絡を受け、関係機関が出動した。周辺を確認したが、油流出原因の特定には至らなかった。		
5月30日 ・ 5月30日	5月30日	多摩川	多摩川本 川	川崎区 鈴木町	油浮遊	国土交通省 環境局環境対策課 事業者 環境局環境対策課	排水口から油混じりの汚水が多摩川へ流出したという連絡を受け、関係機関を現地調査を行った。河川へ油が流れないよう、事業者が排水口を遮断し、オイルフェンスやオイルマットを設置した。	判明	原因者に、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
6月17日 ・ 6月17日	6月17日	鶴見川	矢上川	宮前区 野川		宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課	矢上川山下橋下流で白濁水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。周辺水路等も確認したが、原因特定には至らなかった。		
6月18日 ・ 6月18日	6月18日	多摩川	多摩川本 川	高津区 下作 延		中部下水道事務所 環境対策課	道路側溝に白色水が流れているという通報があった。現地確認をしたところ、白色水が樹に溜まっていた。通報では頻繁に流れているとのことだったが、その後の確認では白色水等は見られず、原因特定には至らなかった。		
6月21日 ・ 6月21日	6月21日	多摩川	五反田川	多摩区 三田		多摩区役所道路公園センター 北部下水道事務所 環境局環境対策課 多摩区役所道路公園センター	五反田川中橋付近で油が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。水路から川への放流口にオイルマットを設置し、下流側へ油が流れないようにした。周辺の水路や事業所等を確認したが、原因特定には至らなかった。		
6月21日 ・ 6月21日	6月21日	多摩川	五反田川	多摩区 三田		多摩区役所道路公園センター 北部下水道事務所 環境局環境対策課 事業者 環境局環境対策課	事業所で、バイクのエンジンオイルを入れ替え中に約100mLこぼしてしまい、道路側溝に流れた。関係機関と実地調査を行ったところ、近くのマンホールから油の臭いがしたため、油の流出を止めることと油をふき取ってもらうよう指導した。	判明	原因者に対して、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。

発生・受信月日	発生場所				事故区分	措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等					
6月24日 ・ 6月24日	6月24日	鶴見川	有馬川	高津区 久未	その他	高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 事業者 環境局廃棄物指導課 環境局環境対策課	有馬川と矢上川の合流地点で有馬川が白濁しているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行ったところ、事業者がペンキ刷毛を洗った水を流したことが判明した。白濁が残っていた雨水槽を清掃するよう指導した。	判明	原因者に対して、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
6月26日 ・ 6月26日	6月26日	鶴見川	片平川	麻生区 片平		麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課 事業者 環境局環境対策課 北部下水道事務所	片平川金井原橋付近の排水口から濁水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。近くの事業所からの排水に泥が混じっており、付近の雨と一緒に排水口から流れていることが確認された。	判明	原因者に、排水系統の確認をさせるとともに、泥研の清掃等の指導を行った。
7月3日 ・ 7月3日	7月3日	多摩川	平瀬川	高津区 久地		高津区役所道路公園センター 宮前生活環境事業所 環境局環境対策課 事業者 宮前生活環境事業所	平瀬川で汚物交じりの白濁水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行ったところ、近隣の2事業所の浄化槽が不適切な状況で使用されており、汚物交じりの排水が流れていることが判明した。早急に浄化槽の清掃等メンテナンスを行うこと、浄化槽のメンテナンスを行うまで必要な排水は出さないことを指導した。	判明	原因者に対し、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
7月5日 ・ 7月5日	7月5日	東京湾	大師運河	川崎区 浮島町		川崎海上保安署 消防局 港湾局 環境対策課 川崎海上保安署 消防局 港湾局 川崎海上保安署 消防局 環境対策課	停泊していた船舶からC重油が海上に流出したという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。船舶周辺にオイルフェンスを設置し、オイルキヤッチャーで油の回収を行った。	判明	原因者及び関係者に対して、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
7月9日 ・ 7月9日	7月9日	鶴見川	有馬川	宮前区 東有馬		宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 事業者 宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課	近隣で、交通事故があり事故車両の燃料が道路側溝を通り、有馬川へ流出したという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。有馬川への流入口にオイルマット、オイルフェンスを設置し、応急処置を行った。	判明	原因者に、道路側溝の清掃をさせた。
7月24日 ・ 7月24日	7月24日	多摩川	二ヶ領用水	中原区 宮内		環境局環境対策課 環境局環境対策課	新築戸建の下水管敷設工事の掘削で生じた濁水を二ヶ領用水へ排出しているという連絡を受け、実地調査を行った。原因者は直ちに排出をやめるよう指導した。河川の魚等への影響がないことを確認した。	判明	原因者に、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分	措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等					
7月29日 ・ 7月29日	7月29日	多摩川	平瀬川支 川	麻生区 東百合丘	魚死 遊	麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課 環境局環境対策課	平瀬川支川で、白濁水が流れていたとい う連絡を受けた。関係機関と実地調査を 行ったところ、近隣道路で水道配管工事を行 行っており、コンクリートの削りかすの一 部が側溝へ流れれていたことが判明した。	判明	原因者に、事故原因、事 故時の措置、再発防止策等 を記載した報告書の提出及 び再発防止の指導を行っ た。
8月9日 ・ 8月9日	8月9日	鶴見川	麻生川	麻生区 上麻生		麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課 麻生区役所道路公園センター	麻生川でコイが数匹浮いているという連 絡を受け、関係機関と実地調査を行った。 コイ以外にも小魚が死亡しているのを確認 したが、バックテレスト等で水質の異常は見 られず、また、調査時点で魚は正常に泳い ており、原因特定には至らなかった。		
8月16日 ・ 8月17日	8月17日	東京湾	白石運河	川崎区 白石町		川崎海上保安署 消防局 港湾局 神奈川県警察 川崎海上保安署 消防局 港湾局 川崎海上保安署 環境局環境対策課	海上に油膜があるという通報を受け、関 係機関が実地調査をしたところ、8月16日 に近隣事業所内に止めてあったトラックの 軽油タンクから、暑さのため軽油が噴出 し、その軽油を道路側溝へ流したことが判 明した。	判明	原因者に、事故原因、事 故時の措置、再発防止策等 を記載した報告書の提出及 び再発防止の指導を行っ た。
8月20日 ・ 8月20日	8月20日	多摩川	平瀬川	宮前区 菅生		宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課	平瀬川の柳橋付近で白濁しているという 連絡を受け、関係機関と実地調査を行っ た。バックテレスト等で水質の異常は見られ ず、原因特定には至らなかった。		
8月26日 ・ 8月26日	8月26日	東京湾	川崎港	川崎区 東扇島		川崎海上保安署 消防局 港湾局 神奈川県警察 消防局 川崎海上保安署 環境局環境対策課	東扇島の岸壁近くに油膜があるという通 報を受け、関係機関が実地調査をしたとこ ろ、近隣事業所が岸壁で保管していた建機 から油漏れし、降雨により海へ流出したこ とが判明した。	判明	原因者に、事故原因、事 故時の措置、再発防止策等 を記載した報告書の提出及 び再発防止の指導を行っ た。
9月24日 ・ 9月24日	9月24日	鶴見川	矢上川	宮前区 野川		宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 西部下水道事務所 環境局廃棄物指導課 環境局環境対策課	矢上川の上野川橋付近で白濁している という通報を受け、関係機関と実地調査を 行った。上流や周りの水路等を確認したと ころ、塗装業者が建屋外の洗い場でペンキ の付いた刷毛を洗っており、その汚水が雨 水管を介して矢上川に流れていることが判 明した。原因者に雨水桝の掃除をすよう 指導した。	判明	原因者に、事故原因、事 故時の措置、再発防止策等 を記載した報告書の提出及 び再発防止の指導を行っ た。

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分	措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等					
10月4日 ・ 10月4日	10月4日	多摩川	平瀬川	高津区 久地	魚死亡 油浮遊 その他	国土交通省 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 国土交通省	平瀬川と多摩川の合流地点で油が浮遊しているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。平瀬川から油が流れていることは判明したが、原因究明には至らなかった。		
10月17日 ・ 10月17日	10月17日	鶴見川	矢上川	高津区 久末		国土交通省 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課	有馬川と矢上川の合流地点下流で白濁しているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行ったが、バックテスト等で異常は見られず、原因特定には至らなかった。		
10月17日 ・ 10月17日	10月17日	東京湾	-	川崎区 東扇島		川崎海上保安署 消防局 港湾局 環境局環境対策課 川崎海上保安署 消防局 港湾局	東扇島付近の海上で油が浮遊しているという連絡を受け、関係機関が出動し、油膜処理やオイルフェンス設置等の措置を実施した。付近を実地調査したが、原因究明には至らなかった。		
10月21日 ・ 10月21日	10月21日	東京湾	千鳥運河	川崎区 千鳥町		川崎海上保安署 港湾局 消防局 環境局環境対策課 川崎海上保安署 港湾局 消防局 環境対策課	千鳥町でトラックと貨物列車との接触事故が発生し、トラックから漏れた軽油が下水管及び雨水側溝を運って海域に流出したという連絡を受け、関係機関が出動し、油膜処理やオイルフェンス設置等の措置を実施した。	判明	原因者に対し、状況報告を求めた。
10月30日 ・ 10月30日	10月30日	鶴見川	矢上川	宮前区 馬絹		宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 神奈川県横浜川崎治水事務所	矢上川で魚が死んでいるという連絡を受け、関係機関と実地調査をした。1000匹程度の死亡魚を回収し、また、周辺調査及び水質調査を実施して農薬数種類を検出したが、原因特定には至らなかった。周辺地域に啓発チラシを配布した。		
11月6日 ・ 11月6日	11月6日	多摩川	多摩川本 川	高津区 二子		上下水道局下水道水質課 中部下水道事務所 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課	排水口から多摩川本川へ水色の着色水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行ったが、現地到着時には着色水は流れていなかったため、原因特定には至らなかった。		
11月8日 ・ 11月8日	11月8日	鶴見川	片平川	麻生区 片平		麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課	片平川で油が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行ない、滞留している油を確認した。その上流から油が流れていたが、流れている油の量が少なく、原因特定には至らなかった。		

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分	措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等					
11月11日 ・ 11月11日	11月11日	多摩川	三沢川	多摩区 菅稲田堤	魚死亡 油浮遊 その他	神奈川県横浜川崎治水事務所 多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課	三沢川で油が浮遊しているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行ったが、現地確認時には油の流出が見られなかったため、原因特定には至らなかった。		
11月12日 ・ 11月12日	11月12日	多摩川	多摩川本 川	高津区 二子		国土交通省京浜河川事務所 上下水道局下水道水質課 中部下水道事務所 高津区役所道路公園センター 消防局 神奈川県警察 環境局環境対策課 中部下水道事務所	多摩川本川に油が流出しているという連絡を受け、オイルフェンス等の措置を行った。関係機関と流出配管の上流等の調査を行ったが、原因究明には至らなかった。		
11月12日 ・ 11月12日	11月12日	東京湾	京浜運河	川崎区 東扇島		川崎海上保安署 神奈川県警察 消防局 港湾局 環境局環境対策課 港湾局	東扇島付近の海上で油が浮遊しているという連絡を受け、関係機関が出動し、オイルフェンス設置等の措置を実施した。付近を実地調査したが、原因究明には至らなかった。		
11月20日 ・ 11月20日	11月20日	多摩川	旧三沢川	多摩区 菅北浦		多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課 多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課	旧三沢川で魚が死んでいるという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。100匹程度の死亡魚を回収し、また、カニも死んでいるのを確認した。バックネットを実施したが異常はなく、周辺調査も行ったが、原因究明には至らなかった。周辺の事業所等に啓発チラシを配布した。		
11月21日 ・ 11月21日	11月21日	多摩川	平瀬川	宮前区 潮見台		宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 宮前区役所道路公園センター 宮前区役所道路公園センター	火災現場にあった車からガソリンが流出したという連絡が入り、関係機関と実地調査を行った。道路側溝等にオイル吸着マットを設置し、道路側溝等の油を含んだ泥等を清掃した。	判明	原因者に対し、使用した路面用油吸着剤の現物返却と道路の清掃の指導を行った。
12月6日 ・ 12月6日	12月6日	多摩川	平瀬川	高津区 下作延		上下水道局下水道水質課 中部下水道事務所 消防局 環境局環境対策課 中部下水道事務所 中部下水道事務所 環境局環境対策課	マンホールからガソリンのような臭気が出るといった連絡を受け、関係機関と実地調査を行ったところ、近隣事業所が油を含む排水を道路側溝へ流したことが判明した。マンホール内にはオイルマットを設置し、下流側へ流れないよう措置を行った。	判明	原因者に、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分	措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等					
12月11日 ・ 12月11日	12月11日	多摩川	二ヶ領用水宿河原線	多摩区 宿河原	魚死亡 油浮遊 その他	神奈川県警察 多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課 事業者 神奈川県警察 環境局環境対策課	二ヶ領用水宿河原線で、コンクリートが混じったような水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行ったところ、周辺で行っていた建設工事でコンクリートを含んだ地下水を雨水側溝に流し、河川へ流出したことが判明した。作業は終了していたが、雨水側溝に溜まった汚水が河川へ流れないよう指示した。	判明	原因者に、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
12月25日 ・ 12月25日	12月25日	東京湾	京浜運河	川崎区 東扇島		川崎海上保安署 消防局 環境局環境対策課 消防局 消防局 環境対策課	桟橋に係留している船舶から軽油が流出したという連絡を受け、関係機関が出勤し、油膜処理やオイルフェンスの設置等の措置を行った。	判明	原因者に、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
1月18日 ・ 1月18日	1月18日	鶴見川	矢上川	宮前区 宮前平		宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課	矢上川で白濁しているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。滞留しやすい場所での白濁水を確認したが、原因究明には至らなかった。		
1月29日 ・ 1月29日	1月29日	東京湾	京浜運河	川崎区 水江町		川崎海上保安署 消防局 港湾局 環境局環境対策課	京浜運河で油膜が浮遊しているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。周辺を確認したが、原因究明には至らなかった。		
2月3日 ・ 2月3日	2月3日	鶴見川	真福寺川	麻生区 下麻生		麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課	真福寺川で油が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。薄い油膜のようなものを確認し、周辺を確認したが、原因究明には至らなかった。		
2月13日 ・ 2月13日	2月13日	鶴見川	矢上川	宮前区 野川		宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 事業者 環境局環境対策課	矢上川に流れ込む水路から白濁水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。河川水のpHがアルカリであったため、白濁の原因がpHを測定しながら水路をたどったところ、建築工事現場が原因であることが判明した。汚水流出を止めるため、雨水ますと道路側溝の清掃及び汚水の回収を原因者に指導した。	判明	原因者に、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分	措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等					
2月15日 ・ 2月15日	2月15日	鶴見川	矢上川	高津区 久末	魚死亡 油浮遊 その他	上下水道局下水道水質課 中部下水道事務所 高津区役所道路公園センター 神奈川県警察 消防局環境対策課 中部下水道事務所 事業者 中部下水道事務所 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課	矢上川鷹巣橋付近で、油が流れていると いう連絡を受け、関係機関と実地調査を行 ったところ、タンクローリーから重油タ ンクへ移す際にA重油を雪の上へこぼして しまい、雪解けとともに雨水側溝から河川 へ流出したことが判明した。道路清掃と雨 水管の清掃、オイルマットの設置を行なっ た。	判明	原因者に、事故原因、事 故時の措置、再発防止策等 を記載した報告書の提出及 び再発防止の指導を行っ た。
2月24日 ・ 2月24日	2月24日	多摩川	平瀬川	高津区 上作延		高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課	水路や道路側溝の水が茶色になっており 悪臭がするという連絡を受けた。関係機関 が実地調査を行ったが、原因究明には至ら なかった。		
3月13日 ・ 3月13日	3月13日	東京湾	浅野運河	川崎区 扇町		川崎海上保安署 港湾局 環境局環境対策課 川崎海上保安署 事業者 環境局環境対策課	浅野運河に白い浮遊物が浮いているとい う連絡を受け、関係機関が実地調査を行っ たところ、近くで行なっていた工事現場か ら止水剤が流れ出したことが判明した。	判明	原因者に、事故原因、事 故時の措置、再発防止策等 を記載した報告書の提出及 び再発防止の指導を行っ た。
3月14日 ・ 3月14日	3月14日	東京湾	末広運河	川崎区 夜光		川崎海上保安署 港湾局 消防局 環境局環境対策課	末広運河で油が約30m浮遊しているとい う連絡を受け、関係機関が実地調査を行っ たところ、近くに停泊している船の甲板に 油が撒かれており、その油が海に流出した ことが判明したが、原因者特定には至らな かった。		
3月20日 ・ 3月20日	3月20日	多摩川	平瀬川	高津区 久地		上下水道局下水道水質課 中部下水道事務所 高津区役所道路公園センター 神奈川県警察 消防局 環境局環境対策課 高津区役所道路公園センター 事業者 上下水道局下水道水質課 中部下水道事務所 環境局環境対策課	平瀬川久地1号橋付近で、油が流れてい るという連絡を受け、関係機関と実地調査 を行ったところ、近隣の工場の切削油が雨 に混じり、道路側溝を介して河川へ流出し たことが判明した。油が混じった水が外に 流れないよう指導した。	判明	原因者に、事故原因、事 故時の措置、再発防止策等 を記載した報告書の提出及 び再発防止の指導を行っ た。
3月25日 ・ 3月25日	3月25日	鶴見川	矢上川	高津区 久末		高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課	矢上川上鷹巣橋付近で、油が流れている という連絡を受けた。関係機関と実地調査 を行ったが、原因究明には至らなかつた。		

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分		措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚 死 亡	そ 油 浮 遊 其 他				
3月27日 ・ 3月27日	3月27日	鶴見川	麻生川	麻生区 上麻生	3	22	麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課	麻生川柿生新橋付近で白い水が流れてい るという連絡を受け、関係機関と実地調査 を行った。周辺を確認したが、原因究明に は至らなかった。	判明：26 不明：24	
小 計					3	22				
合 計					50					